

活動レポート

オホーツク技術士会

文責：オホーツク技術士会幹事 岡田包儀

技術講演会等の開催

年頭に当たり北海道支部会員の皆様、本年も宜しくお願い申し上げます。本号では、昨年10月に実施した技術講演会を中心に報告いたします。

1. 現場見学会

日時：2010年(平成22年)6月23日(水)
午後1時00分～午後5時00分

※バス往復移動中、車内で見学現場の説明・解説

参加者：計10名

説明者：北海道開発局網走開発建設部北見道路事務所
他と共同主催

見学箇所：①北見ヶ岡トンネルの工事現場(北見道路)、②第2南ヶ丘橋上部工事、③北見市広郷改良工事、④その他



第2南ヶ丘橋上部工事の見学状況



広郷改良工事での緑化工法による吹付状況



北見ヶ岡トンネルの坑内工事現場見学



北見ヶ岡トンネルの濁水処理施設見学

2. 技術講演会

日時：2010年(平成22年)10月19日(火)
午後4時00分～午後6時00分

場所：ホテルベルクラシック北見(北見市)

出席者：計58名



講演される鳥居講師

講師：鳥居 直也氏

「技術士を応援するページ SUKIYAKI 塾」
主宰者

演題：新しい時代の技術者そして技術士

講演要旨

鳥居直也講師は、「技術士を応援するページ SUKIYAKI 塾」ホームページ並びに、APEC-semi の主宰者である。

講演では始めに、今後求められる技術者像について述べられた。これは、従来の公共または企業という組織枠の技術者の立場から離れた視点で、公益性、市民の立場、法人の経営感覚、更に従来の専門技術を併せ持つ幅広い役割・責任を担う技術者像である。

次に学習成果を高める手法について解説された。知識に関しては、①形式知、②暗黙知の2つの類型があり何れも知識を身につける上で両者は補完する関係にある。例えば技術士試験等の勉強方法については、業務の実践・経験・応用(暗黙知)を通して技量を身につけ技術体系の中で整理し、背景となる基礎理論を修得し、知識の定着を図る(形式知)方法が、学習をする上で一般に効果的であることを示した。併せて感性の感動(意欲を通じた取組・経験)を通し、更に理性の感動(知識の定着)と2つの感動を結びつけることがより効果的である。

優れた技術者に求められる能力で特に重要な「望ましい課題解決のプロセス」については、事例で示され解説された。これは、整理した課題に対し如何にボトルネック(システム上の制約条件)を抽出し、このボトルネック解消に集中的に対応することがポイントであることを示した。また、優れた技術者を目標とする上で技術士を目指す必要性を示した。



技術講演会の状況

最後に PPP、PFI 等、近年の公共工事の動向について述べられ、今後の新たな公共・法人・市民との有機的連携の基、技術者としてこれらの要望・基軸

となる観点を包含した総合的視点で社会資本について対応すべきも点も言及いただいた。



技術講演会の状況

鳥居講師の講演を通じ、特に教育面における人材を育成する手法について大変示唆に富んだ内容で、有意義な講演であった。

3. 情報交換会

日 時：2010年(平成22年)10月19日(火)

午後6時20分～午後8時00分

場 所：ホテルベルクラシック北見(北見市)

出席者：計22名

情報交換会では、鳥居講師を囲みつつ恒例の出席者全員からの挨拶・近況報告等行っていただき、懇親を深めた。



情報交換会で乾杯挨拶(島田副代表幹事)

4. その他

北見まちづくり協議会委員の委嘱

【委嘱期間：H22.6.14～H24.6.13】

北見まちづくり協議会委員：橘邦彦技術士

最後になりますが、会員皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。